

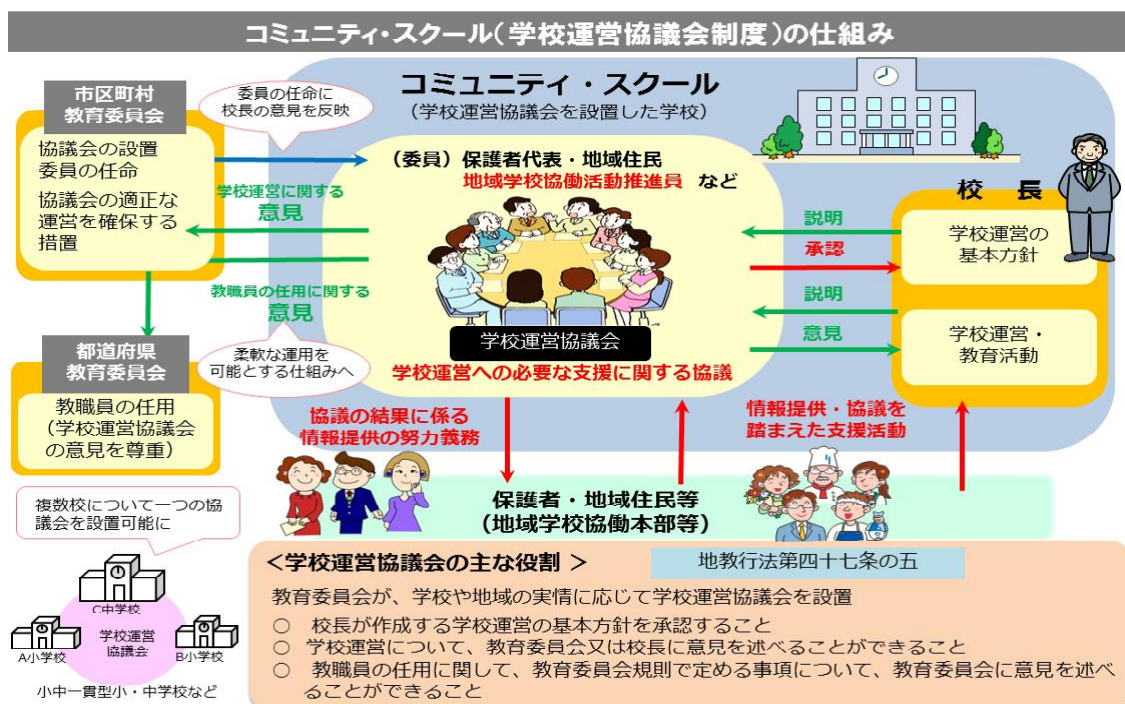
コミュニティ・スクール通信



No.1

令和8年7月23日発行

今年度、比内支援学校たかのす校ではコミュニティ・スクールを導入することになりました。コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」という組織を設置している学校のことです。この協議会を通して、保護者や地域住民等が一定の権限をもって学校運営に参画することで、学校の教育目標やビジョンを皆で共有し、共に子どもたちを育て、よりよい学校づくりをしていくことが目的です。



*文部科学省 HP より

令和8年度 学校運営協議会委員

会 長	三浦 栄一 氏	(国立大学法人秋田大学 客員教授)
副会長	村上 光明 氏	(比内支援学校 学校評議員)
	佐藤 一仁 氏	(社会福祉法人県北報公会大野岱吉野学園 施設長)
	高橋 昌明 氏	(大館公共職業安定所鷹巣出張所 所長)
	加賀 光也 氏	(北秋田市健康福祉部福祉課 課長)
	成田 正子 氏	(北秋田市教育委員会学校教育課 推進監)
	明石 桂 氏	(北秋田市立清鷹小学校 校長)
	山田 理 氏	(北秋田市立鷹巣中学校 校長)
	近藤 テイ子 氏	(フードセンターたかのす 施設長)
	長峰 英雄 氏	(秋田内陸縦貫鉄道株式会社 代表取締役社長)
	宮本 昌子 氏	(ふかさわファーム 代表)
	佐藤 和博 氏	(おさるべ自然の会 地域学校協働活動推進員)
	前田 永治 氏	(比内支援学校たかのす校 PTA会長)
	福士 智子	(比内支援学校たかのす校 校長)

第1回学校運営協議会が開催されました！

6月29日(月)に第1回学校運営協議会が開催されました。はじめに、校長より委員の皆様に委嘱状が手交された後、県生涯学習課 川田社会教育主事から「地域と学校の連携・協働に向けて～自分の立ち位置でできることを～」と題して、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動についての説明をしていただきました。

これまで、たかのす校は絆プロジェクトを中心として地域での教育活動を展開してきましたが、コミュニティ・スクールの目指すところは、「地域とともにある学校」「地域は学校と協働するパートナー」として、地域と学校が協働して、子どもたちに地域社会の一員として生きていく力を身に付けさせることであることを確認しました。



キーワードは **協働**



その後、児童生徒の学習の様子を参観していただき、村上副会長を議長に協議が行われました。協議では、今年度の学校経営方針について承認していただいたほか、今後に向け、たくさんの貴重な御意見を頂戴しました。



委員の皆様から
いただいた御意見



- ・授業が学校経営方針を体現化していると感じた。
- ・私は「うま辛どんどん」のファンだが、知名度が低いことが残念である。
- ・毎年入学式に参加させてもらっている。小学1年生が入学してわずか3か月なのに、座って頑張っている姿を見ることができ、驚いた。
- ・子どもたちが安心して授業に参加しており、授業の内容が実生活に結びついたものとなっている。
- ・管理職不在時の避難訓練が予定されているとのことだが、いろいろな想定で避難訓練を実施することは大事なことであると思う。
- ・息子がお世話になってから10年が経つ。10年前と比較するとよくなったが、まだまだたかのす校の取組が地域に周知されていないと感じる。来年度の50周年に向け、たかのす校をPRしていきたい。
- ・職員のワークライフバランスにも留意してほしい。
- ・特別支援学校に足を運んだのは初めてだが、授業を参観して、一人一人の実態に合わせて教材が工夫されており、板書が丁寧で、タブレット型端末の活用が日常的になっていると感じた。

*コミュニティ・スクール通信は、ホームページからも御覧いただけます。たかのす校の地域での教育活動、児童生徒の様子も、随時更新していますので、ぜひ御覧ください。



← ホームページはこちらから

発行 コミュニティ・スクール推進委員会
担当：伊藤 登美子